

## 新茶シーズン到来 緑茶への支出はいくら？ ～家計調査から～

青々とした木々が街を彩る季節を迎えました。この時期、街に並ぶお茶販売店に目を移すと、新茶の香が漂います。日本は、古来より茶道などお茶に親しむ文化があります。しかし、最近ではペットボトル飲料でも本格的な緑茶が手軽に楽しむことができます。今回は、緑茶を切り口に、世帯におけるお酒を除く飲料への支出について家計調査を使ってみていきましょう。みなさんの家庭では、どんな飲料をよく買っているか想像してから、読んでみてください。

図1は、平成12～24年の全国の一  
世帯あたり1年間の飲料と緑茶の支出  
金額の推移です。飲料をみるとおおむ  
ね横ばいとなっていますが、平成20  
年から、4年連続で増加しています。  
一方で、緑茶（茶葉のみ）をみると、  
支出金額は減少していることがわかり  
ます。

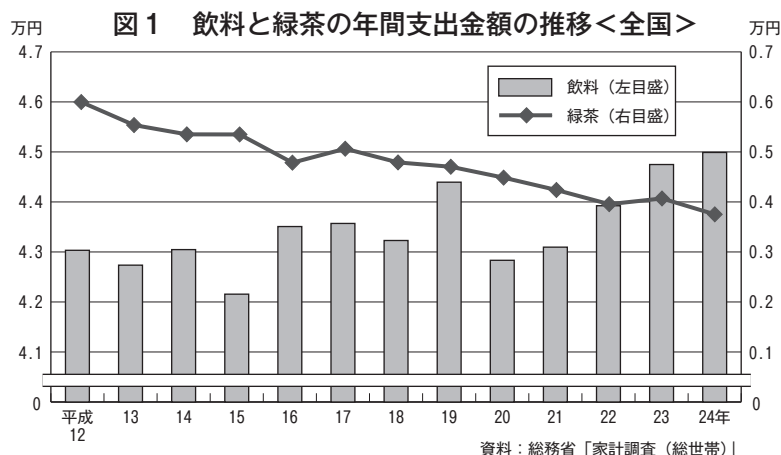
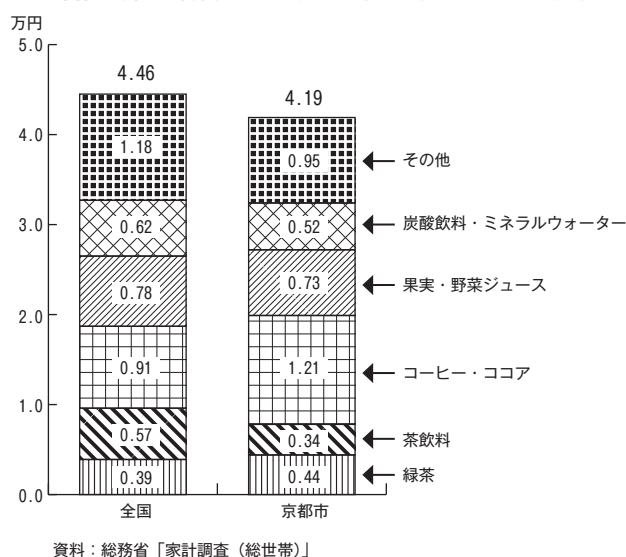


図2 品目別の飲料への支出金額<平成22～24年平均>



次に、飲料の内訳を全国と京都市で比べてみま  
しょう。図2は、平成22～24年平均の1世帯当  
たりの年間支出金額のグラフです。

全国をみると、緑茶の支出金額が最も少なく、  
次いで、茶飲料（ペットボトルのお茶など）となっ  
ています。一方、コーヒー・ココアが最も多くなっ  
ています。

また、京都市をみると、茶飲料が最も少なく、  
次いで、緑茶となっています。一方、コーヒー・  
ココアが最も多くなっています。

京都市も全国も、直近のデータでは緑茶よりそ  
れ以外の飲料への支出金額の方が圧倒的に多いこ  
とがわかります。

※その他（スポーツドリンクなどを含む）は除  
いて比較。